

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030062503

病院施設番号： 030062 臨床研修病院の名称： 秋田赤十字病院

臨床研修病院群番号： 臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	秋田赤十字病院研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色	<p>2年の研修期間中、一般外来1クール（1クール4：～5週間）を含む内科6クール以上、救急3クール(※1)以上、地域医療1～2クール(※2)、外科1クール以上、小児科・新生児科1クール以上、産科・婦人科1クール以上、精神科1クール(※3)以上を必修科目とする。残りの期間は希望する診療科を自由に選択できる。また希望により、地域保健研修として、保健所（秋田中央保健所、秋田市保健所、大仙保健所、能代保健所）、秋田県赤十字血液センターを選択できる。</p> <p>※1：2年間の研修期間で行った救急外来日・当直（5回程度/月）を1クールに換算出来る。</p> <p>※2：地域医療研修協力病院・協力施設 御野場病院（秋田市）、礼文町国民健康保健船泊診療所（北海道）、置戸赤十字病院（北海道）、町立羽後病院（羽後町）、市立大森病院、市立角館総合病院（仙北市）、能代山本医師会病院（能代市）、石田小児科医院（秋田市）</p> <p>※3：精神科研修協力施設 秋田回生会病院（秋田市）、今村病院（秋田市）</p>			
3. 臨床研修の目標の概要	<p>(1) 医師として初めて医療に従事するにあたり、医療全般について基本となる知識および技能を習得する。</p> <p>(2) 各科ローテーションおよび救急外来における研修を通じて、初期医療に必要な能力を身につける。</p> <p>(3) 2年間の医療全般についての幅広い体験を通して、自己の適性の発見に努める。</p>			
4. 研修期間	(2) 年（原則として、「2年」と記入してください。）			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。初期研修に引き続き専門研修を希望する場合は、選考結果により研修することが可能。			
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
内科	030062	秋田赤十字病院	20週	
救急部門	030062	秋田赤十字病院	12週	

必修科目 ・ 分野	地域医療	096239	御野場病院	4週	
		034840	礼文町国民健康保険船泊診療所		
		031148	置戸赤十字病院		
		031247	羽後町立羽後病院		
		034811	市立大森病院		
		031243	市立角館総合病院		
		031225	能代山本医師会病院		
		116213	石田小児科医院		
	外科	030062	秋田赤十字病院	4週	
	小児科	030062	秋田赤十字病院	4週	
	産婦人科	030062	秋田赤十字病院	4週	
	精神科	030062	秋田赤十字病院	4週	
	精神科	031226	秋田回生会病院		
一般外来	030062	秋田赤十字病院	4週		
病院で 定めた 必修 科目				週	
				週	
				週	
				週	
選択 科目				週	
				週	
備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 84 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。 臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。 研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 5 回/1クール 救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・0 週※但し、4 週を上限とする 一般外来の研修を行う診療科・・・総合診療科 ※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること					

